

# 令和4年度 経営方針 学校経営の概要(佐世保特別支援学校 北松分校)

## 1 校訓

健康 協力 自立

## 2 学校教育目標

児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を通して、健康で日々楽しく生きがいをもって生活できる力や、自ら考え主体的に行動できる力を身に付け、他を思いやる心をもって積極的に社会参加し役割を果たしながら、生涯にわたって自分らしい豊かな人生を送ろうとする人間を育成する。

めざす学校像	めざす児童生徒像	めざす教師像
○児童生徒の人権を尊重しいのちを大切に する学校 ○児童生徒が楽しく生き生きと学ぶ学校 ○県民に信頼され、北松地域の特別支援教育に貢献する学校	○健康でたくましく、生きぬく児童生徒 ○思いやりのある心豊かな児童生徒 ○自立し社会に参加・貢献しようと努力を続ける児童生徒	○子どもに寄り添い、子どもとともに歩む教師 ○専門性を高め、成長し続ける教師 ○保護者や地域から信頼される教師

## 3 学校経営目標

- ① 第二期長崎県特別支援教育推進基本計画・第一次実施計画に基づき教育環境整備・教育活動の充実に努める。
- ② 児童生徒一人一人がこれからのよりよい社会(共生社会)の創り手となるよう「社会に開かれた教育課程」の実現を図り、不断のカリキュラム・マネジメントにより教育活動の質の向上に努める。
- ③ 児童生徒一人一人の命と人権を尊重し、障害特性や発達段階、教育的ニーズに応じた愛情あふれる教育の充実に努める。
- ④ 全教職員が融和協調して教育目標の達成を図り、創意と活気に満ちた学校づくりに努める。
- ⑤ 地域資源の活用や小学部・中学部・高等部の共同学習、一貫した指導など、特色ある教育活動に努める。
- ⑥ 学校と家庭・地域・医療・福祉機関等との連携を密にし、生涯を見据えた指導に努める。
- ⑦ 北松地域の特別支援教育の充実・発展のため、特別支援教育のセンター的機能の発揮に努める。
- ⑧ 児童生徒数の増加、実態の多様化に伴い、必要な施設改修を進めるとともに、教室環境の改善に努める。
- ⑨ 県民の信頼に応える教職員をめざし、不祥事0(ゼロ)の学校づくりに努める。
- ⑩ 佐世保特別支援学校業務改善アクションプランに基づき、働き方改革を推進する。

## 4 本年度努力目標

(1)児童生徒の人権を尊重し、いのちを大切に  
する学校づくりをめざす。

- ① 体罰等によらない指導を徹底し、児童生徒の人権や内面を尊重した指導・支援を行う。
- ② 教育環境の日常的な整理整頓と学習環境チェックリストの確実な実施を行う。
- ③ 危機管理マニュアル等の改善を図り、防災教育の充実にめざす。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心・安全な教育活動の実践を行う。

(2)児童生徒が楽しく生き生きと学ぶ学校  
づくりをめざす

- ① PDCA サイクルを生かしたカリキュラム・マネジメントを行う。
- ② 自立活動の指導力の向上のための研修を行うとともに、一人一人の障害特性に応じた指導実践を行う。「自閉症指導スタンダード」の活用を図る。
- ③ 自立活動の時間における指導の時間割上の位置づけを検討し、令和5年度に完全実施をめざす。
- ④ 一人一台端末を活用し、教科の学びを深め、双方向につながる授業の展開を図る。
- ⑤ 一人一授業(公開授業等)の実施を行い、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。
- ⑥ 小学部・中学部・高等部の各教科等の系統的な指導内容の整理を行いながら、小学部・中学部・高等部の共同学習の充実にめざす。また、地域の環境や人々とつながる活動を積極的に授業に取り入れ、地域と連携した教育活動の推進を図る。
- ⑦ 体験的な進路学習、進路情報の共有、進路面談などを計画的に実施することで希望進路100%をめざす。
- ⑧ 生涯学習や生涯スポーツ、生涯文化芸術活動の契機となるような教育活動の充実にめざす。

(3)県民に信頼され、北松地域の特別支援教育に  
貢献する学校づくりをめざす。

- ① 北松地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮し、教育相談支援機能の充実に図るとともに、市町の教育委員会と役割を分担しながらコーディネーター連絡協議会の企画運営を行う。
- ② 支援籍による交流及び共同学習の一層の充実にめざす。
- ③ 北松分校への理解・協力を促進するために、積極的に教育活動の外部への情報発信を行う。